

主催：NPO 法人 22 世紀八幡ルネッサンス協会
後援：八幡市教育委員会

第 12 回 八幡市民文化サロン

市民共同で再生可能エネルギー事業を どう進めてきたか

NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会事務局長 古家野辰也さん

巨大台風、猛暑、洪水、土砂崩れなど気候変動による被害が続いています。世界の平均気温が産業革命以前に比べ 1℃上昇するだけでこのような異常気象です。2015 年に採択されたパリ協定では、今世紀半ばには 2℃、できれば 1.5℃までの上昇に抑えることが目標になりました。子や孫のために、住み続けられる地球を残すために、温暖化効果ガスを発生させない社会をめざす活動がひろがるにはどうすればよいか皆さんと共に考えたいと思います。



上の写真は、宇治市小倉町 11 号機 3.92kw 点灯式

《城陽の会のプロフィール》

当会は 2011 年 3 月福島第一原発事故を契機に原発再稼働停止と被災者支援、再生可能エネルギー普及の活動を進めて来た「原発ゼロをめざす城陽の会」を母体に 2012 年 9 月発足、翌年 8 月法人格取得、今日まで市民共同発電所を 11 基 53.37kw まで設置。他に、再エネ・省エネをテーマの学習会・講演会、書籍・LED 販売等を取り組む。

◆ 日時 2020 年 3 月 10 日（火）

午前 10 時～12 時

◆ 会場 八幡市市民協働活動センター

八幡市八幡東浦 5 番地 075 - 925 - 5748

◆ 参加費 300 円

※問合せ；土井 三郎

Tel 075 (983) 5278

